

# 新任薬剤師研修会に参加して

横浜医療センター 日下部 由衣

出身大学：明治薬科大学（2024年）

興味のある分野：抗菌薬、治験、DMAT

4月より横浜医療センターに配属になりました、日下部由衣です。就職と同時に神奈川県で一人暮らしを始めました。長い学生生活に終わりをつけ、新しい職場と新しい住まいに毎日胸が躍るような思いで生活しています。

7月6日の第27回新任薬剤師研修会では、「医療安全について」の講義と「Team STEPPS」というグループ研修が行われました。医療安全の講義を聞いて、事故を防止するために改めてコミュニケーションの必要性を感じました。日常的に周囲の方とコミュニケーションをとることにより、日々の些細な疑問を共有しやすくなること、それにより小さなミスを減らすことができスライスチーズモデルの穴を防ぐことを学びました。休憩時間や業務終了後の少しの会話が事故を減らすポイントの一つだと思い、研修終了後は特に意識して実践しています。「Team STEPPS」では、コミュニケーションスキルとして「2回チャレンジール」を学びました。医師への問い合わせの際、少なくとも2回は関心事をはっきりと声に出して述べる、という意味です。一度の問い合わせで医師の意見に変更がなかったとしても、再度自分の意見を確実に伝える必要があるということでした。実際の疑義照会では、1回で引き下がってしまったことが何度かありました。もっと薬剤師としての責任を持つべきだとこの研修を通して感じました。研修で医師役と薬剤師役に分かれ疑義照会の練習をしたことも、自分の意見を言う練習の良い機会になったと感じています。この研修に参加でき、とても有意義な時間を過ごすことができました。企画してくださった先生方に感謝申し上げます。

横浜医療センターは関東信越グループの中でも規模が大きく、1年目で配属される場所には最適

な施設だと感じております。4月から6月まではセントラル業務を覚え、7月から夜勤と病棟業務が始まりました。覚えることが次から次に出てくる状況に戸惑いながらも、先輩方に沢山ご指導いただき、充実した日々を送っています。8月に入り、病棟業務にも少しずつ慣れてきました。服薬指導が思うようにいくと嬉しくなります。病棟業務に関わるようになり、入院から退院までの間で多くの他職種の方がかかわっていることを知りました。それに伴い算定要件や薬剤師指導記録の書き方についても勉強するようになりました。先輩方の記録を参考にしながら、要点を押さえつつ分かりやすい記録が書けるようになることが今の目標です。

入職して4か月がたった今、できることや任せてもらえる仕事が増えました。今はまだ与えられる仕事をこなすことに精いっぱいですが、早く自分から仕事を見つけられるようになりたいです。まずは日々の業務を着実にこなせるよう努力していきます。業務を行う中で、大学で学んだ知識を生かせることも多くあり、そのたびに嬉しくなりました。一方で現場ならではの知識や、より詳細な知識が必要となる機会が増え、学びが増えていく毎日です。

興味のある分野は多くあり、特に感染症に魅力を感じています。国家試験の勉強をしていくうちに抗菌薬に興味を持ち始めました。最も苦戦した分野だからこそ学びたい気持ちが強くなりました。これから少しずつ専門的な内容も勉強していけたらと思っています。

今後新たに取り組む業務が増えていくと思いますが、積極的に取り組み、どの業務も偏りなくこなせるよう努力していきます。